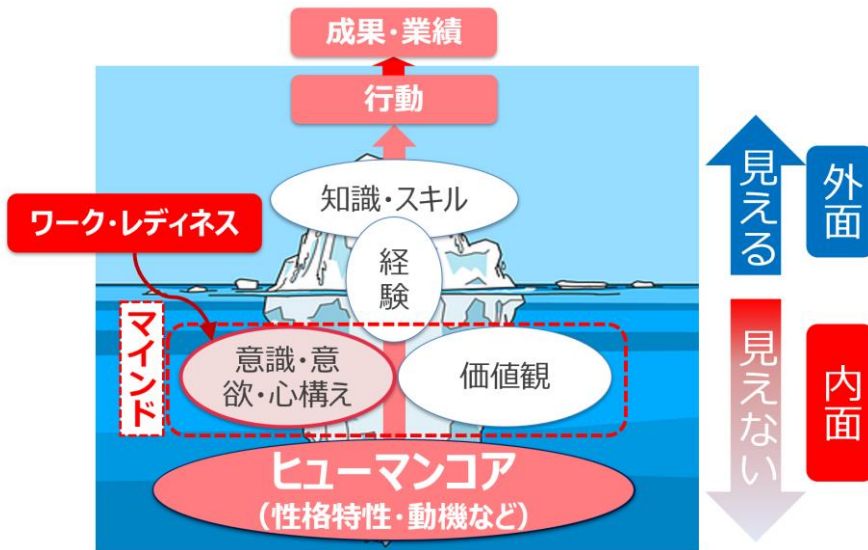


# MARCO POLOアセスメント 「ワーク・レディネス」

- ▶いつか本気を出すぞと思いながら、社会人としての時間が過ぎていく人
- ▶「お客様の笑顔が見たい」という気持ちになれない、事務的な対応の人
- ▶困難を乗り越えていこうとする意欲が感じられない人…

これらの原因は「ワーク・レディネス」が整っていないことです。  
「働き方」に大きな影響を与えています！

ワーク・レディネスは、キャリア研究の世界的大家であるドナルド・E・スーパーによる成果をはじめとするさまざまな研究によって、**働き方に大きな影響を与える**ことが世界的に知られています。



人の行動は、内面のヒューマンコアから生まれます。次に、同じく内面の「意識・意欲・心構え」が、例えば、「短気な行動は良くない」という心構えを持つ人であれば、短気な行動は発揮されないように調整しようとします。そして最後に知識・スキル・経験をツールとして活用し、行動を発揮します。

ワーク・レディネスは、**マインドの中の「心構え」**に位置し、「働くための心の準備」状態を示します。

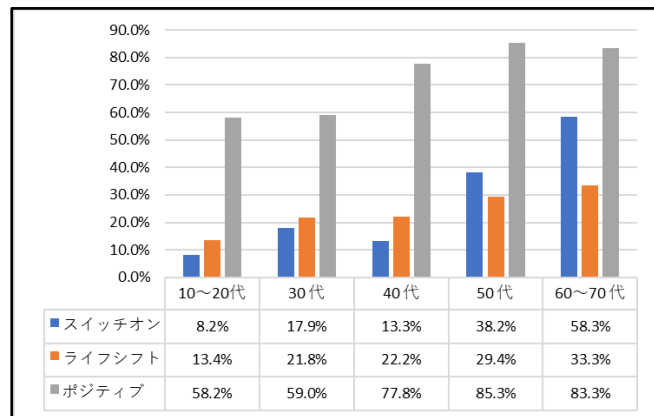
ワーク・レディネスの特徴は、心構えなので、本人が容易にセットしやすく（可変性が高い）、しかも発揮される行動への影響力が大きいということです。そのため、人材育成のファーストステップとして非常に有効です。

社員には、「心構え」が適切にセットされているという思い込みは危険です！  
年々、若年層の心構えの未熟さが増えています！

## 【ワーク・レディネスの3因子】

スイッチオン	人生において、本気を出すための心の準備が整っているか	整っていない場合は、ポテンシャルはあるが、今は本気を出すときではない、いつか本気を出したら自分ではできるはずだと思いながら、社会人としての時間が過ぎていく
ライフシフト	今の仕事に対して、心のベクトルがしっかり向いているか	整っていない場合は、学生時代や前職などで頑張ってきた人が、今の仕事にはうまくコミットできず、どうしっくりとはまっていない
ポジティブ	仕事に対して、怖いものだという認識がなく前向きに捉えられているか	整っていない場合は、自分の仕事に他人からコメントされると自分が批判されていると勘違いして過度に攻撃的、または防衛的になってしまう

## 【ワーク・レディネス3因子が整っている人の出現率】



※若年層は、ポジティブな人が多いけれど、働くことに対するスイッチオンやライフシフトの心構えは低い人が多い

ワーク・レディネスの定義および測定アルゴリズムは、様々なキャリア研究を背景にした上で、レイル社が再定義・設計したものです。

## 何が分かるの？ どのように活用するの？

### 【分かること】

ワーク・レディネスは、ヒューマンコアと発揮される行動とを媒介する非常に重要な鍵になるものであり、様々な問題行動を抑止し、活躍行動を引き出すという大きな役割を担うものです。

ワーク・レディネスは、3因子×3つの構成概念で構成されており、個々の「働くことに対する心の準備」状態について、とても丁寧な測定がなされます。

社員個々の、あるいは組織全体的な「心の準備」状態を、細かく把握することができます。

### 【どのように活用するのか】

ワーク・レディネスは、心構えなので、本人が容易にセットしやすく（可変性が高い）、しかも発揮される行動への影響力が大きいため、人材育成のファーストステップとして非常に有効です。

組織全体のワーク・レディネスの状態を見れば、「育成体系」設計における大きなヒントに成り得ます。

ワーク・レディネスの測定結果（アウトプット）は、本人に気づきを与え、ワーク・レディネスを整えた場合の行動とはどのようなものなのかを、ケーススタディできる内容になっています。

## 受検・測定方法

### 【受検方法】

#### ● マルコポーロ導入企業様

マルコポーロ特性アセスメントとは別のアセスメントとして、2025年1月にシステム搭載される予定です。

#### ● マルコポーロを導入されていない企業様

2025年1月よりスポット受検料金をご用意する予定です。

### 「プレ受検」受付中

システム搭載までの期間、特別料金にてプレ受検をお請けしております。

プレ受検特別料金 2,200円（税込）、WEB受検納品方法：個別PDF、CSVデータ

### 【測定方法】

- 「ワーク・レディネス」アセスメント（48問）を受検いただきます。

### 【アウトプット】

- ワーク・レディネスは、以下の9つの構成概念（3因子×3つの構成概念）ごとに、整っている状態を数値化した上で、次の3つのフラグを示します。「◎とても高く整っている」、「○整っている」、「△整っていない」
- また、整っていない場合の働き方（行動傾向）と、整っている場合の働き方（行動傾向）を示し、行動変容への意識付けができるようにデザインされています。

スイッチオン	①時間的	現在から未来への時間軸のなかで、今こそ、この仕事で責任ある言動とともに本気を出すべきだ、本気を出す時期を将来にずらすべきではない、という心の準備ができていますか。
	②人生的	仕事を行う前の準備として、そもそも自分の人生に無関心や投げやりになることがなく、人生をより良くしたいと願う心の準備が整っているか。
	③美的追求	仕事を綺麗に完成させよう、顧客との素晴らしい関係を作ろうという気持ちがないと仕事にその人らしさが生まれません。仕事や人生に対して美を追究しようとする心の準備ができていますか。
ライフシフト	④現実受容	理想と現実が異なるものであることを理解し、過度に理想のみにとらわれず、現実を受容するための心の準備ができていますか。
	⑤変化	立場の変更などの状況変化に対して、安定を過度に求めず、柔軟に対応するための心の準備ができていますか。
	⑥未来の危機	このままではまずいという危機感を、敏感に察知できるような心のセンサーが働くための準備ができていますか。現状に満足しやすい心の状態になっていないか。
ポジティブ	⑦職業忌避	働くことにそもそもの違和感や嫌悪感、職業に就くことに伴う人生への拘束感が心を支配してしまっていないか。職業に向き合うための心の準備が整っているか。
	⑧偏向性	働くことを、朝決まった時間に出勤したり、ノルマを達成したりすることだけだと勘違いしていないか。働くことが人間関係や思考の幅を広げることにつながるという心構えができていますか。
	⑨愛他性	他人に対する愛や利他性がないと、独善的な個人主義の枠から抜け出して、真の仕事人としてのフィールドに上ることができない。職業に向き合う前に、人と接するための心の準備ができていますか。